



NETIS登録番号		技術名称		連続スぺーサー																													
QS-120016-A		副題		組立用鉄筋とモルタルスぺーサーブロックが一体となった鉄筋工用スぺーサー																													
分類1	橋梁上部工	ポストテンション場所打ちホーラスラブ橋工	キーワード: 公共工事の品質確保・向上																														
分類2	橋梁上部工	RC場所打ちホーラスラブ橋工																															
開発目標		省人化、施工精度の向上、品質の向上																															
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術																																
特許	<input type="checkbox"/> 有り (特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし																																
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明																																
問合せ先	会社名	株式会社 ヤマウ			TEL	092-872-3352																											
	住所	福岡県福岡市早良区東入部5丁目15-7			E-MAIL	d-taniguchi@yamau.co.jp																											
	担当者	谷口大太郎																															
実績件数	国土交通省		その他の公共機関		民間等																												
H26.8.31現在	2件		1件		0件																												
技術概要: (300字以内)																																	
<p>現場打ちコンクリート床版の鉄筋組立時に使用している組立用鉄筋(段取り筋)と、かぶり確保用のモルタルスぺーサーを一体化させました。これにより製品を型枠上に並べるだけの簡単施工を可能とし、スぺーサーの脱落・回転を防ぎ鉄筋のかぶりを確保します。従来は底面型枠上に組立用鉄筋を敷設した後、モルタルスぺーサーを1つ1つ設置していました。</p> <p>橋桁やスラブ等の底面かぶり確保のためのスぺーサーとして利用でき、組立用鉄筋を必要とする鉄筋工で特に効果を発揮します。</p>																																	
「どこに新規性があるのか」																																	
<p>①従来技術では組立用鉄筋を敷設したあと、鉄筋を持ち上げながらモルタルスぺーサーを1つ1つ設置しており、非常に面倒な作業でした。連続スぺーサーは組立用鉄筋とモルタルスぺーサーが一体となっているので、型枠上に並べるだけで簡単に敷設できます。</p> <p>②従来技術では、鉄筋組立時やコンクリート打設時の振動・衝撃によりスぺーサーが回転したり組立用鉄筋から外れたりしてかぶりが確保できない問題も発生していました。連続スぺーサーは組立用鉄筋とモルタルスぺーサーが一体となっているので、振動・衝撃によって組立用鉄筋からスぺーサーが外れることはありません。</p>																																	
「期待される効果」																																	
<p>①工程・施工性の向上・・・「組立用鉄筋の敷設→スぺーサーを1つずつ取り付け」という従来の2ステップの作業が「連続スぺーサーの敷設」という1ステップの作業で済みます。また、従来技術での組立用鉄筋を持ち上げながらスぺーサーを潜り込ませるといった作業員への負担を取り除きました。</p> <p>②品質の向上・・・スぺーサーが外れることがないため脱落を防止でき、鉄筋のかぶりを確保することができます。</p>																																	
「適用条件」																																	
技術提供可能地域 全国																																	
「適用可能な範囲」																																	
<p>①鉄筋コンクリート工事の純かぶり35mm用スぺーサーとして適用可能。</p> <p>②特に効果の高い適用範囲は、橋桁・スラブ等の底面部に型枠がある構造物で、組立用鉄筋が必要とされている場合。</p>																																	
「写真・図等」																																	
従来技術の内訳																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>施工能力</th> <th>工程(日)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>D13</td> <td>0.2</td> <td>t</td> <td>4 t/日</td> <td>0.05</td> <td>H21土木工事標準積算基準書</td> </tr> <tr> <td>スぺーサ設置工</td> <td>サイロスぺーサ</td> <td>400</td> <td>個</td> <td>1920個/日</td> <td>0.21</td> <td>位置出し+設置を15秒/個として算出</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.26</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						項目	仕様	数量	単位	施工能力	工程(日)	摘要	鉄筋工	D13	0.2	t	4 t/日	0.05	H21土木工事標準積算基準書	スぺーサ設置工	サイロスぺーサ	400	個	1920個/日	0.21	位置出し+設置を15秒/個として算出	計					0.26	
項目	仕様	数量	単位	施工能力	工程(日)	摘要																											
鉄筋工	D13	0.2	t	4 t/日	0.05	H21土木工事標準積算基準書																											
スぺーサ設置工	サイロスぺーサ	400	個	1920個/日	0.21	位置出し+設置を15秒/個として算出																											
計					0.26																												
新技術の内訳																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>施工能力</th> <th>工程(日)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>D13</td> <td>0.2</td> <td>t</td> <td>4 t/日</td> <td>0.05</td> <td>H21土木工事標準積算基準書</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.05</td> <td>80.77%向上</td> </tr> </tbody> </table>						項目	仕様	数量	単位	施工能力	工程(日)	摘要	鉄筋工	D13	0.2	t	4 t/日	0.05	H21土木工事標準積算基準書	計					0.05	80.77%向上							
項目	仕様	数量	単位	施工能力	工程(日)	摘要																											
鉄筋工	D13	0.2	t	4 t/日	0.05	H21土木工事標準積算基準書																											
計					0.05	80.77%向上																											
 																																	
<p>新技術 連続スぺーサー(エポキシ塗装)</p> <p>従来技術 組立用鉄筋+サイロスぺーサ</p>																																	